

谷口まさのり

所沢市政レポート

気候変動 +
2025年9月議会 編

連絡先：〒359-1151 所沢市若狭 1-2961-1-213

電話：04-2941-5111/FAX：04-2941-5112/tani.eco@dream.ocn.ne.jp



Facebook



Instagram



X(旧Twitter)

「始発男！」は
子どもにツケを
残さない！



- ◆今年の夏は更に暑かった！🤯『地球沸騰化』をなんとかしなきゃ！
- ◆『学童保育版 小1の壁』の解消を市長に提言！（新1年生を優先的に学童保育に受け入れを）（裏面）

★暑い！暑い！夏だった・・・🤯

年々暑くなる夏、2025年の夏は、とうとう所沢市も最高気温が40℃を突破！（8月5日）

そして群馬県伊勢崎市では日本最高記録を更新（41.8℃）となっていました。

来年以降の夏を考えると、末恐ろしくなるのは、私だけでしょうか？

私達自身の為、そして、子ども・孫の為、更に、これから生まれてくる将来世代の為に、

我々は、今の『地球沸騰化』の流れを何としてでも！変えていかねばなりません！！



★トランプ政権でも、世界の大きな流れは変わらない

ウクライナ、ガザなど、不幸な紛争が起りながらも、2016年11月に発効した『パリ協定』で、**世界共通の長期目標**として、『世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること』が掲げられ、各国で努力が進められてきております。残念ながら、トランプ政権はサイエンス（科学）を軽視し、気候変動対策について、間違った政策を進めていると私は考えます。トランプ政権の間はアメリカの気候変動対策は後退となりますが（各州の政策は別）、**自然エネルギー（再生可能エネルギー）推進を中心とした、世界的な『脱炭素の大きな流れ』は変わりません。**

（**日本の目標**：2035年度に温室効果ガスを2013年度比で60%削減し、2050年までに温室効果ガス排出の実質ゼロにすること。所沢市は『ゼロカーボンシティ宣言』で、2050年までに市内からのCO2排出の実質ゼロを宣言）

★『超省エネ型 + 自然エネルギー型』の生活へ！

私、谷口まさのりは、私達の生活が、『超省エネ型』に移行しながら、自然エネルギー中心で回っていくような社会にすることが理想と考えます。更に、賢い手法で、『増えすぎているCO2を大気中から回収・固定化する技術』の開発（社会実装も）を今以上のスピードで進めていかねばなりません。

★これからも地球🌍で暮らしませんか？（もう一段の行動を！）／『デコ活』で検索を←環境省サイト



世の中の行動変容を目指して！



冬は暖房エネルギー（暖房費）を少なくする工夫を（厚着などで）



期待される！ペロブスカイト型の新しい太陽光発電（写真は都内展示会）（裏面へ）
（大阪・関西万博にも設置！）

◆『学童保育版 小1の壁』の解消を市長に提言！
(新1年生を優先的に学童保育に受け入れを)(一般質問 要旨)



学童保育に入所を申し込みしたものの、保留児童(入所できなかった児童)になってしまったケースを少しでも救済すべく、今年の夏休みの期間に新規事業として実施した、保留児童を預かる、『サマープレイスところざわ実施事業(放課後居場所緊急対策事業)』への質問を通じて、市長に対して、新1年生で、新年度に入る前の時点で、既に保護者が働いているケースで、学童保育へ入所申し込みした場合は、現在の選考点数の配分を見直し、優先的に学童保育への入所を認めるべき！と提言致しました。



←始発男！の谷口

Q:今夏の『サマープレイス事業』は3施設で実施されたが、それぞれ何名の利用があったのか？
また希望者の全員が利用できたのか？

(こども未来部長)

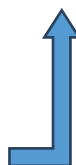
A:利用状況は、なかよしこども園が17名、埼玉YMCAが29人、ひかり児童館が17名であった。
また希望者の全員が利用できた。



Q:2025年度の当初時点で、学童保育の保留児童数を学年別に伺いたい。

(こども未来部長)

A:1年生が57人、2年生が60人、3年生が67人、4年生が160人、5年生が64人、6年生が31人である。



Q:私も経験したが、働いている親としては、新1年生の子どもを何処でどう預けて働き続けるか？という、新年度の生活への不安が非常に大きい。よって、新1年生になる前から既に保護者が働いているケースでは、選考点数の配分を見直すなどして、学童保育に優先的に入所できるようにするべきではないか？

(市長)

A:私(市長)としても、新1年生の保育の必要性は高いものと認識している。1年生は2年生以上の学年に比べ入所選考での点数が高く、入所しやすいように配慮しているが、他の項目とのバランスを考慮しながら点数については検討していく。

(谷口の思い) 私、谷口としては、上記ケースでは確実に、新1年生が学童保育に入所できるよう、引き続き、本件に取り組んでまいります！

◆その他の「一般質問」として、★『2025年大阪・関西万博 お茶が織りなす日本文化展事業』(狭山茶のPR事業)、『今後のインバウンド戦略』、『所沢市職員へのカスタマーハラスメント防止対策』などについて、質問・提言を行いました。



谷口まさのり プロフィール 詳細エピソード付き！プロフィール！

- ◆1965年(昭和40)北海道生まれ(留萌市)／埼玉大学 工学部 環境化学工学科卒業
- ◆栗田工業(環境系)や省エネ企業に15年間勤務／1997年の『地球温暖化防止 京都会議(COP3)』参加
- ◆2011年4月 所沢市議に初当選、現在4期目、(元)副議長、無所属『改革派!』として活動中(現在政党に所属せず)
- ◆趣味等:スポーツ(西武ライオンズファンクラブ会員)／カラオケ／カブトムシ採り／大のビール党
日課はメダカのエサやり、ウォーキング時の「花」の観察
- ◆環境カウンセラー(環境省資格)/社会保険労務士(年金と雇用の関連資格)/認知症サポーター
- ◆『始発男』『始発の谷口』と呼ばれております。
- ◆始発! 前の時間(小手指駅は朝4:40から／狭山ヶ丘駅は朝5:00から など)から、駅では、15年前より、レポートを配布しております。

